

新興再興感染症技術研修

SB0s	科目及び講義課題	講師名	時間数		
			集合	オンライン	遠隔
レジオネラ検査診断に関連する細菌学の基本について、説明することができる。	1. レジオネラに関する体系的知識 1) レジオネラ症・検査法の総論 2) レジオネラ属菌培養法実習概要 3) 迅速診断法（qPCR） 4) レジオネラ分子疫学（SBT法） 5) 喀痰からのDNA抽出 6) レジオネラ培養法概論 7) 環境中のアメーバとレジオネラ感染 8) 事例研究 9) バイオリスク管理総論	外部講師	A 1 A 0.5 A 0.5 A 0.5 A 0.5 A 1 A 1 A 1 A 1		
分離培養や遺伝子増幅法（PCR）を用いたレジオネラの検査診断法を列挙し、基本的・実践的なレジオネラ検査診断技術について説明することができる。	2. レジオネラ検査診断に関する基礎技術 1) レジオネラ属菌培養法実習（ろ過濃縮、塗布、培養、観察） 2) レジオネラ分子疫学（SBT法） 3) レジオネラコロニー検査実習（斜光法、紫外線による確認、釣菌） 4) 免疫血清による型別 5) 検査における基本的手技	外部講師	C 6.5 C 7 C 3 C 2 C 1		
他の呼吸器疾患にも応用可能な遺伝子検査法を実施できる。	3. 検査・検査業務その精度等の管理に関する基本的な知識 1) 迅速診断法診断法（qPCR）	外部講師	C 2		
時間数	小計		28.5	0	0
	集合	A 7.0 B 0.0 C 21.5 D 0.0 E 0.0	合計 28.5		
	オンライン	A 0.0 B 0.0 C 0.0 D 0.0 E 0.0			
	遠隔	A 0.0 B 0.0 C 0.0 D 0.0 E 0.0			

Aは講義、Bは演習、Cは実験、Dは見学、Eはその他、修了時評価等（オリエンテーション、開講式・閉講式は除く。）

遠隔は、遠隔システムを利用し、予習・復習を行うもの（事前課題は除く。）